

平成 29 年 3 月 14 日
 国立情報学研究所
 学術コンテンツ課

平成 28 年度 SPARC Japan セミナー実施報告

1. 企画 WG グループ

研究者、及び実務担当者によるワーキンググループを設置、年間テーマ「オープンサイエンス時代の文献とデータの流通：科学的知識創成の新たな標準基盤へ向けて」とした上で SPARC Japan セミナーを企画・実施した。主な活動内容は以下のとおりである。

- ・メーリングリストでの意見交換の上、企画書作成
- ・プログラム案に基づき、講演者・パネリストへの打診
- ・セミナー当日の司会・運営補助
- ・広報用チラシの作成

【企画 WG メンバー】

| | 回次 | 名前 (五十音順) | 所属・役職 |
|------|-----|--------------|---|
| 研究者 | 1,2 | 蔵川 圭 | 国立情報学研究所 学術コンテンツ課 特任准教授 |
| | 2,3 | 能勢 正仁 | 京都大学大学院理学研究科附属地磁気世界資料解析センター 助教 |
| | 3 | 林 和弘 | 科学技術・学術政策研究所 科学技術予測センター 上席研究官 |
| | 1,2 | 坊農 秀雅 | 大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構 データサイエンス共同利用基盤施設 ライフサイエンス統合 データベースセンター (DBCLS) 特任准教授 |
| 図書館員 | 3 | 小野 亘 | 東京学芸大学 教育研究支援部 学術情報課長 (これからの学術情報システム構築検討委員会推薦) |
| | 1,3 | 梶原 茂寿 | 北海道大学附属図書館 学術システム課システム管理担当 係長 (国立情報学研究所推薦) |
| | 1 | 西脇 亜由子 | 明治大学 学術・社会連携部 図書館総務事務室 (大学図書館コンソーシアム連合運営委員会推薦) |
| | 2,3 | 南山 泰之 | 国立極地研究所 情報図書室主任 (機関リポジトリ推進委員会推薦) |

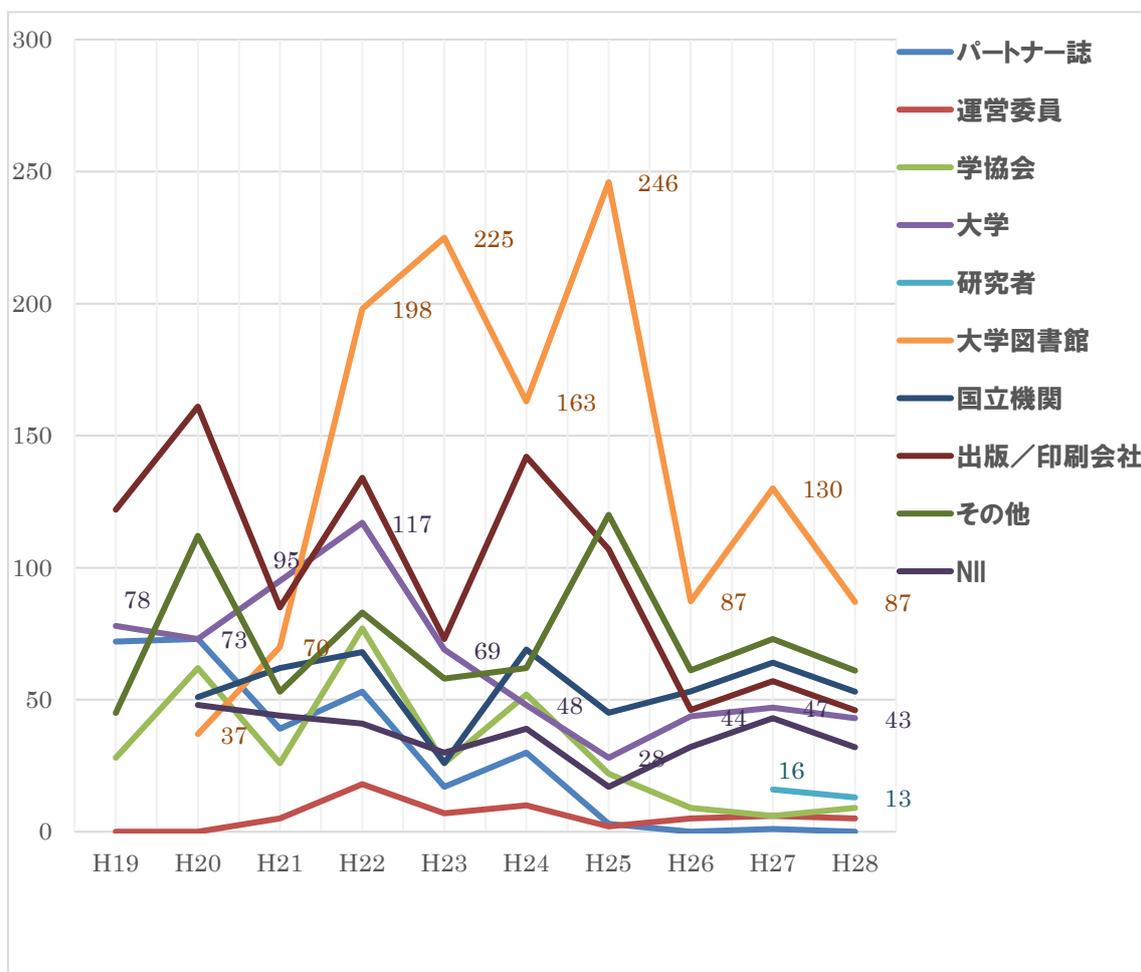
2. 年間テーマの設定

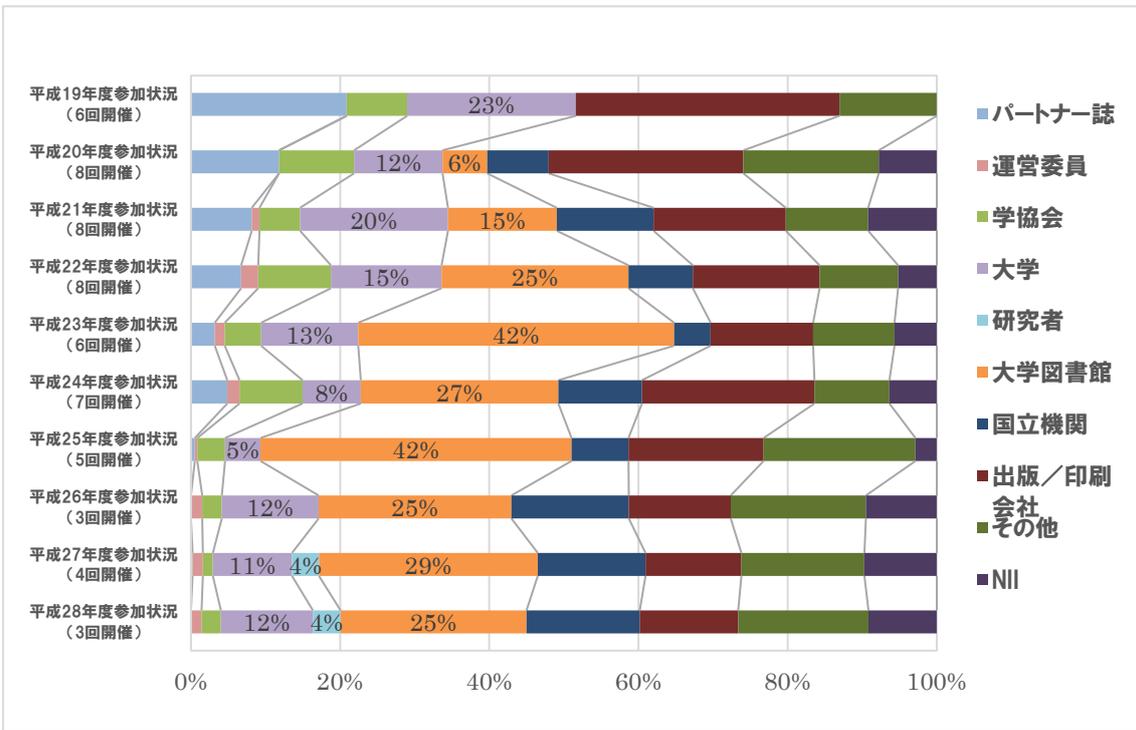
平成 27 年度より年間を通したテーマを設けることとなり、平成 28 年度は「オープンサイエンス時代の文献とデータの流通：科学的知識創成の新たな標準基盤へ向けて」をテーマとして設定した。具体的な個別テーマとして、第 1 回はグリーン OA とゴールド OA の現状を踏まえた上で今後の日本が取るべき戦略を議論し、第 2 回で研究データのオープン化のためのインセンティブとデータマネジメントを取り上げ、最終回でこれらを総括しオープンサイエンスについて再考した。

3. 実施状況について

平成 28 年度の実施状況は【資料 2-2-2】のとおりである。発表資料・ビデオ映像・記録ドキュメント等はウェブサイト(<http://www.nii.ac.jp/sparc/event/>)で公開している。

4. 参加者人数の経年変化





| 1回あたりの平均人数 | |
|-------------------|-----|
| 平成19年度参加状況 (6回開催) | 58 |
| 平成20年度参加状況 (8回開催) | 77 |
| 平成21年度参加状況 (8回開催) | 60 |
| 平成22年度参加状況 (8回開催) | 99 |
| 平成23年度参加状況 (6回開催) | 89 |
| 平成24年度参加状況 (7回開催) | 88 |
| 平成25年度参加状況 (5回開催) | 118 |
| 平成26年度参加状況 (4回開催) | 89 |
| 平成27年度参加状況 (4回開催) | 111 |
| 平成28年度参加状況 (3回開催) | 116 |